

カンベンガ・マリールイズ  
空を見上げて—ルワンダの内戦—そして希望—  
(2010年7月1日発行)

目次

	ページ
まえがき	1
第1部 ルワンダの自然と生活、私の子どもの頃	3
アフリカの楽園	3
マメとイモが中心の食生活	5
食事づくりは家族みんなで	7
お菓子はバナナとサトウキビ	8
生ごみは肥料に	9
家造りも近所の助け合い	10
15歳で大人の仲間入り	12
田舎の素朴な結婚式	13
私はコンゴ生まれ、でもルワンダ人	17
私の兄と姉妹たち	19
貧しくて学校へ行けない子たち	20
あきらめない子	21
あきらめさせないために	23
往復2キロの水汲みを5回	24
いろんな言葉を学ぶ	26
子どもたちのこれから	27
第2部 内戦そして国外へ	28
3種類の人たち	28
民族の違いなんかない	30
体の特徴で区別するのはウソ	32
日本に渡って日本語を学ぶ	34
突然の内戦勃発	36
死んだ町になったキガリ	40
奇跡に救われながら逃げる	42
ドーナツと日本語で生き延びる	44
みんなの力で日本へ	47
地獄のような難民キャンプ	48
難民キャンプもバラバラに	51
恐ろしい殺し合い	52
つくられた戦争	54
消えない記憶、でも希望はある	56
歴史にどう刻むか	57
第3部 学校づくり	59
学校づくり運動は内戦の前から	59
読み書きのできるおばあさんに感動	61
教育があれば避けられた虐殺	63
「ルワンダの教育を考える会」を作る	65
たくさんの援助で進む学校建設	67
夢を語れるようになった子どもたち	69

高まっている教育への理解	70
いつかは自立した経営を	71
お金がなくても行ける学校に	74
平和教育の方法	76
世界一すばらしい日本の義務教育	78
教育は命の次の宝物	80
これが平和	82
あとがき	85